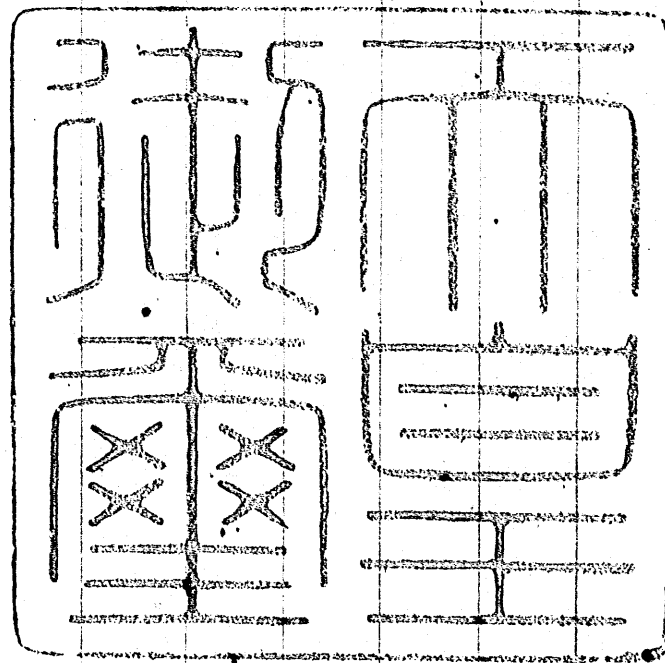


法律第四十六号

朕帝國議會ノ協賛ヲ經タル陸軍刑法ヲ
裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

睦仁



明治四十一年四月九日

内閣總理大臣侯爵西園寺公望
陸軍大臣子爵寺内正毅

法律第四十六號
陸軍刑法

第一編 總則

第二編 罪

第一章 叛亂ノ罪

第二章 擅權ノ罪

第三章 辱職ノ罪

第四章 抗命ノ罪

第五章 暴行脅迫ノ罪

第六章 侮辱ノ罪

第七章 逃亡ノ罪

第八章 軍用物損壞ノ罪

第九章 掠奪ノ罪

第十章 俘虜ニ関スル罪

第十一章 違令ノ罪

陸軍刑法

第一編 總則

第一條 本法ハ陸軍軍人ニシテ罪ヲ犯シタル者ニ之ヲ適用ス

第二條 本法ハ陸軍軍人ニ非スト雖左ニ記載シタル罪ヲ犯シタル者ニ之ヲ適用ス

一 第六十四條乃至第六十七條ノ罪及此等ノ罪ノ未遂罪
二 第七十四條ノ罪

三 第七十九條乃至第八十五條ノ罪
四 第八十六條乃至第八十九條ノ罪
五 第九十一條乃至第九十三條ノ
罪及第九十一條、第九十二條ノ未遂
罪

六 第九十五條第一項、第九十六條、
第九十七條第二項及第九十九條ノ
罪

第三條 本法ハ前二條ニ記載シタル者
帝國外ニ於テ罪ヲ犯シタルトキト雖

之ヲ通用ス

第四條 帝國軍ノ占領地ニ於テ陸軍軍
人刑法又ハ他ノ法令ノ罪ヲ犯シタル
トキハ之ヲ帝國內ニ於テ犯シタルモ
ノト看做ス

陸軍軍人ニ非スト雖帝國臣民、從軍外
國人及俘虜ノ犯シタルトキ亦前項ニ
同シ

第五條 帝國外ニ在ル部隊ニ屬シ若ハ
從フ者又ハ之ニ俘虜タル者其ノ部隊

ノ所在地ニ於テ刑法又ハ他ノ法令ノ
罪ヲ犯シタルトキ亦前條ニ同シ

第六條 陸軍ト共同作戰ニ從フ海軍軍
人ニ對スル行爲ハ其ノ職務官等等級
又ハ階級ニ相當スル陸軍軍人ニ對ス
ル行爲ト看做ス

第七條 陸軍ト共同作戰ニ從フ外國ノ
陸海軍ニ屬スル者ニ對スル行爲ハ其
ノ職務官等等級又ハ階級ニ相當スル
陸軍軍人ニ對スル行爲ト看做ス但シ

其ノ外國ニ於テ同一ノ取扱ヲ爲スコ
トヲ保セサル場合ハ此ノ限ニ在ラズ
第八條 陸軍軍人ト稱スルハ左ニ記載
シタル者ヲ謂フ

一 陸軍ノ現役ニ在ル者但シ未タ入
營セサル者及歸休兵ヲ除ク

二 召集中ノ在郷軍人

三 召集ニ依ラス部隊ニ在リテ陸軍
軍人ノ勤務ニ服スル在郷軍人

四 前二號ニ記載シタル者ノ外陸軍ノ

制服着用中又ハ現ニ服役上ノ義務
履行中ノ在郷軍人

五 志願ニ依リ國民軍隊ニ編入セラ
レ服務中ノ者

第九條 左ニ記載シタル者ハ陸軍軍人
ニ準ス

一 陸軍所屬ノ學生生徒

二 陸軍軍屬

三 陸軍ノ勤務ニ服スル海軍軍人

前項第一號ニ記載シタル者ノ中特ニ

除外スヘキ者アルトキハ命令ヲ以テ
之ヲ定ム

第十條 陸軍將校相當官陸軍准士官海
軍將校同相當官海軍候補生及海軍准
士官ハ陸軍將校ニ準ス陸軍士官ノ候
補者ニシテ士官ノ勤務ニ服スル者亦
同シ

第十一條 陸軍士官ノ候補者ニシテ下
士ノ階級ニ在リ士官ノ勤務ニ服セサ
ル者ハ陸軍下士ニ準ス

第十二條 陸軍ノ兵役ニ在リテ官等、等級ヲ有セサル者ハ兵卒ニ準ス陸軍士官ノ候補者ニシテ兵卒ノ階級ニ在ル者亦同シ

第十三條 在郷軍人ト稱スルハ陸軍ノ現役以外ノ役ニ在ル者陸軍ノ現役ニ在リテ未タ入營セサル者陸軍ノ歸休兵及退役陸軍將校同相當官准士官ヲ謂フ

第十四條 陸軍軍屬ト稱スルハ陸軍文

官同待遇者及宣誓シテ陸軍ノ勤務ニ服スル者ヲ謂フ但シ豫備又ハ退職ノ文官ハ此ノ限ニ在ラス

第十五條 海軍軍人ト稱スルハ海軍刑法ニ於テ海軍軍人ト爲ス者ヲ謂フ

第十六條 上官ト稱スルハ命令關係アル陸軍軍人間ニ於テ命令權ヲ有スル者ヲ謂フ

命令關係ナキ者ノ間ニ於テハ官等、等級又ハ階級ノ上ナル者ハ之ヲ上官ニ

準ス但シ兵卒ハ下士勤務上等兵ヲ除
クノ外總テ同等トス

第十七條 司令官ト稱スルハ軍隊ノ司
令ニ任スル陸軍軍人ヲ謂フ

第十八條 哨兵ノ稱スルハ儀仗又ハ警
戒ノ爲守地ニ在ル陸軍軍人ヲ謂フ

第十九條 部隊ト稱スルハ陸軍ノ軍隊、
官衙、學校、特務機關及戰時ニ於ケル陸
軍ノ特設機關ヲ謂フ

第二十條 軍中ト稱スルハ左ニ記載シ

タル部隊ニ在ル場合ヲ謂フ

一 戰時ノ體勢ヲ執リタル部隊但シ
留守部隊、衛戍勤務ニ服スル後
備又ハ國民諸隊戰地以外ノ地ニ在
ル輸送又ハ補給諸機關ニシテ
對敵狀態ニ在ラサルモノヲ除ク

二 戰時ノ體勢ヲ執ラサルモ對敵
狀態ニ在ル部隊

三 事變又ハ一地方ノ騷擾ニ際シ
其ノ鎮定ニ從事スル部隊

第二十一條 陸軍ニ於テ死刑ヲ執行スルトキハ陸軍法衙ノ管轄スル長官ノ定ムル場所ニ於テ銃殺ス

第二十二條 多衆共同ノ暴行ヲ鎮壓スル爲又ハ敵前ニ在ル部隊ノ急迫ニ臨ミ軍紀ヲ保持スル爲已ムコトヲ得サル出ラタル行爲ハ之ヲ罰セヌ
必要ノ程度ヲ超エタル行爲ハ情狀ニ因リ其ノ刑ヲ減輕又ハ免除スルコトヲ得

第二十三條 前條ノ規定ハ刑法又ハ他ノ法令ノ罪ト爲ルハキ行爲ニ亦之ヲ適用ス

第二十四條 本法及海軍刑法ニ於テ俱ニ罰スヘキ正條アリ且其ノ刑ニ輕重ナキトキハ陸軍軍人ニ準スル者ト雖海軍軍人ニ對シテハ海軍刑法ヲ適用ス

第二編 罪

第一章 叛亂ノ罪

第二十五條 黨ヲ結ヒ兵器ヲ執リ反亂

ヲ爲シタル者ハ左ノ區別ニ從テ處斷

ス

一 首魁ハ死刑ニ處ス

二 謀議ニ參與シ又ハ群衆ノ指揮

ヲ爲シタル者ハ死刑、無期若ハ五

年以上ノ懲役又ハ禁錮ニ處シ具

ノ他諸般ノ職務ニ従事シタル者ハ

三年以上ノ有期ノ懲役又ハ禁

錮ニ處ス

三 附和隨行シタル者ハ五年以下ノ

懲役又ハ禁錮ニ處ス

第二十六條 反亂ヲ爲ス目的ヲ以テ黨

ヲ結ヒ兵器、彈藥具ノ他軍用ニ供スル

物ヲ劫掠シタル者ハ前條ノ例ニ同シ

第二十七條 左ニ記載シタル行爲ヲ爲

シタル者ハ死刑ニ處ス

一 軍隊又ハ要塞、陣營、艦船、兵器、彈

藥具ノ他軍用ニ供スル場所、建造

物具ノ他ノ物ヲ敵國ニ交付スルコ

ト

二 敵國ノ爲ニ間諜ヲ爲シ又ハ敵國ノ間諜ヲ幫助スルコト

三 軍事上ノ機密ヲ敵國ニ漏泄スルコト

四 敵國ノ爲ニ嚮導ヲ爲シ又ハ地理ヲ指示スルコト

五 敵國ニ降ラシムル爲同令官ヲ強要スルコト

六 敵國ノ爲ニ俘虜ヲ奪守シ又ハ之

ヲ逃走セシムルコト

第二十八條 敵國ヲ利ムル爲左ニ記載シタル行爲ヲ爲シタル者ハ死刑ニ處ス

一 要塞、陣營、艦船、兵器、彈藥其ノ他軍用ニ供スル場所、建造物其ノ他ノ物ヲ損壞シ又ハ使用スルコト能ハサルニ至ラシムルコト

二 水陸ノ通路、橋梁ヲ損壞又ハ壅塞シ又ハ具ノ他ノ方法ヲ以テ軍

隊艦船ノ往來ノ妨害ヲ生セシムル
コト

三 司令官軍隊ヲ率井テ守地若ハ
配置ノ地ニ就カス又ハ其ノ地ヲ離
ルルコト

四 隊兵ヲ解散シ又ハ其ノ潰走混
亂ヲ誘起シ又ハ其ノ連絡集合ヲ妨
害スルコト

五 兵器彈藥糧食被服具ノ他軍用
ニ供スル物ヲ缺乏セシムルコト

六 命令通報若ハ報告ヲ詐リ傳ヘ又
ハ虛偽ノ命令通報若ハ報告ヲ爲
スコト

七 造言飛語シ又ハ敵前ニ於テ叫
呼喧噪スルコト

第二十九條 前二條ニ記載シタル以外
ノ方法ヲ以テ敵國ニ軍事上ノ利益ヲ
與ヘ又ハ帝國ノ軍事上ノ利益ヲ害シ
タル者ハ死刑又ハ無期若ハ五年以上
ノ懲役ニ處ス

第三十條 反亂者又ハ内亂者ヲ利スル
爲前三條ニ記載シタル行爲ヲ爲シタ
ル者ハ死刑無期若ハ三年以上ノ懲役
又ハ禁錮ニ處ス

第三十一條 前六條ノ未遂罪ハ之ヲ罰
ス

第三十二條 第二十五條乃至第三十條
ノ罪ノ豫備又ハ陰謀ヲ爲シタル者ハ
一年以上ノ有期ヲ懲役又ハ禁錮ニ處
ス

第三十三條 第二十五條又ハ第二十六
條ノ罪ノ豫備又ハ陰謀ヲ爲シタル者
未タ事ヲ行ハサル前自首シタルトキ
ハ其ノ刑ヲ免除ス

第三十四條 本章ノ規定ハ戰時同盟國
ニ對スル行爲ニ亦之ヲ適用ス

第二章 擅權ノ罪

第三十五條 司令官外國ニ對シ故ナシ
戰鬪ヲ開始シタルトキハ死刑ニ處ス

第三十六條 司令官休戰又ハ講和ノ告

知ヲ受ケタル後故ナク戦闘ヲ爲シタルトキハ死刑ニ處ス

第三十七條 司令官權外ノ事ニ於テ已ムコトヲ得サル理由ナクシテ擅ニ軍隊ヲ進退シタルトキハ死刑又ハ無期若ハ七年以上ノ禁錮ニ處ス

第三十八條 命令ヲ待タズ故ナク戦闘ヲ爲シタル者ハ死刑又ハ無期若ハ七年以上ノ禁錮ニ處ス

第三十九條 本章ノ未遂罪ハ之ヲ罰ス

第三章 辱職ノ罪

第四十條 司令官具ノ盡スヘキ所ヲ盡サスレテ敵ニ降り又ハ要塞ヲ敵ニ委シタルトキハ死刑ニ處ス

第四十一條 司令官野戦ノ時ニ在リテ隊兵ヲ率井敵ニ降りタルトキハ具ノ盡スヘキ所ヲ盡シタル場合ト雖云月以下ノ禁錮ニ處ス

第四十二條 司令官敵前ニ於テ具ノ盡スヘキ所ヲ盡サスレテ隊兵ヲ率ヒ逃

避シタルトキハ死刑ニ處ス

第四十三條 司令官軍隊ヲ率井敢ナク
守地若ハ配置ノ地ニ就カス又ハ其ノ
地ヲ離レタルトキハ左ノ區別ニ從テ
處斷ス

一 敵前ナルトキハ死刑ニ處ス

二 戰時、軍中又ハ戒嚴地境ナルト

キハ五年以上ノ有期禁錮ニ處ス

三 其ノ他ノ場合ナルトキハ三年以
下ノ禁錮ニ處ス

第四十四條 司令官出兵ヲ要求スル權
アル官憲ヨリ其ノ要求ヲ受ケ故ナク
之ニ應セサルトキハ二年以下ノ禁錮
ニ處ス

第四十五條 將校部隊若ハ一部ノ兵員
ヲ率井又ハ之ニ屬シ輸送船舶ニ在リ
テ敵ノ艦船ニ遭遇シタル際其ノ盡ス
ハキ所ヲ盡サスレテ其ノ船舶ヲ退去
シタルトキハ死刑、無期若ハ十年以上
ノ懲役又ハ禁錮ニ處ス

第四十六條 部下多衆共同シテ罪ヲ犯スニ當リ鎮定ノ方法ヲ盡ササル者ハ三年以下ノ禁錮ニ處ス

第四十七條 哨兵故ナク守地ヲ離レタルトキハ左ノ區別ニ從テ處斷ス
一 敵前ナルトキハ死刑ニ處ス
二 軍中又ハ戒嚴地境ナルトキハ三年以下ノ禁錮ニ處ス
三 其ノ他ノ場合ナルトキハ一年以下ノ禁錮ニ處ス

第四十八條 哨兵睡眠又ハ酩酊シテ其ノ職務ヲ怠リタルトキハ左ノ區別ニ從テ處斷ス

一 敵前ナルトキハ五年以下ノ禁錮ニ處ス
二 其ノ他ノ場合ナルトキハ一年以下ノ禁錮ニ處ス

第四十九條 衛兵、控兵、巡察、斥候、其ノ他警戒又ハ傳令ノ勤務ニ服スル者故ナク勤務ノ場所若ハ隊伍ヲ離レタルト

キ又ハ到ルヘキ場所ニ到ラサルトキ
ハ左ノ區別ニ從テ處斷ス

一 敵前ナルトキハ死刑又ハ無期若
ハ十年以上ノ禁錮ニ處ス

二 軍中又ハ戒嚴地境ナルトキハ二
年以下ノ禁錮ニ處ス

三 具ノ他ノ場合ナルトキハ一年以
下ノ禁錮ニ處ス

第五十條 敵ナク規則ニ依ラズレテ哨
兵ヲ交代セシメ其ノ他哨令ニ違反シ

タル者ハ左ノ區別ニ從テ處斷ス

一 敵前ナルトキハ一年以上五年以
下ノ禁錮ニ處ス

二 軍中又ハ戒嚴地境ナルトキハ三
年以下ノ禁錮ニ處ス

三 具ノ他ノ場合ナルトキハ一年以
下ノ禁錮ニ處ス

第五十一條 戰時軍中又ハ戒嚴地境ニ
在リテ斥候、巡察又ハ偵察ノ勤務ニ服
スル者虚偽ノ報告ヲ爲シタルトキハ

七年以下ノ懲役ニ處ス

戰時、軍中又ハ戒嚴地境ニ在リテ軍事ニ関スル命令、通報又ハ報告ノ傳達ヲ掌ル者其ノ命令、通報若ハ報告ヲ詐リ傳ヘ又ハ故ナク之ヲ傳達セサルトキ亦前項ニ同シ

第五十二條 軍事機密ノ圖書、物件ヲ保管スル者危急ノ時ニ當リ之ヲ敵ニ委セサル方法ヲ盡ササルトキハ五年以下ノ禁錮ニ處ス

第五十三條 戰時、軍中又ハ戒嚴地境ニ

在リテ兵器、彈藥、糧食、被服其ノ他軍用ニ供スル物ノ運搬又ハ支給ヲ掌ル者故ナク之ヲ缺乏セシメタルトキハ一年以上十年以下ノ懲役ニ處ス

第五十四條 健康ヲ害スルキ飲食物ヲ配給シタル者ハ一年以上十年以下ノ懲役ニ處ス因テ死ニ致シタル者ハ無期又ハ五年以上ノ懲役ニ處ス

第五十五條 從軍ヲ免レ又ハ危險ナル

勤務ヲ避クル目的ヲ以テ疾病ヲ作爲シ、身體ヲ毀傷シ其ノ他詐僞ノ行爲ヲ爲シタル者ハ左ノ區別ニ從テ處斷ス

一 敵前ナルトキハ五年以上ノ有期懲役ニ處ス

二 其ノ他ノ場合ナルトキハ五年以下ノ懲役ニ處ス

第五十六條 第四十條、第四十二條、第四十三條、第四十五條、第四十七條、第四十九條、第五十一條及第五十三條乃至第九條

五十五條ノ未遂罪ハ之ヲ罰ス

第四章 抗命ノ罪

第五十七條 上官ノ命令ニ反抗シ又ハ之ニ服従セサル者ハ左ノ區別ニ從テ處斷ス

- 一 敵前ナルトキハ死刑又ハ無期若ハ十年以上ノ禁錮ニ處ス
- 二 軍中又ハ戒嚴地境ナルトキハ一年以上七年以下ノ禁錮ニ處ス
- 三 其ノ他ノ場合ナルトキハ二年以下ノ禁錮ニ處ス

下ノ禁錮ニ處ス

第五十八條

黨與シテ前條ノ罪ヲ犯シ

タル者ハ左ノ區別ニ從テ處斷ス

一 敵前ナルトキハ首魁ハ死刑ニ處

シ其ノ他ノ者ハ死刑又ハ無期禁錮

ニ處ス

二 軍中又ハ戒嚴地境ナルトキハ首

魁ハ無期又ハ五年以上ノ禁錮ニ處

シ其ノ他ノ者ハ一年以上十年以下

ノ禁錮ニ處ス

三 其ノ他ノ場合ナルトキハ首魁ハ

三年以上十年以下ノ禁錮ニ處シ其

ノ他ノ者ハ五年以下ノ禁錮ニ處ス

第五十九條

暴行ヲ爲スニ當リ上官ノ

制止ニ從ハサル者ハ三年以上ノ禁錮

ニ處ス

第五章 暴行脅迫ノ罪

第六十條

上官ニ對シ暴行又ハ脅迫ヲ

爲シタル者ハ左ノ區別ニ從テ處斷ス

一 敵前ナルトキハ一年以上十年以

下ノ懲役又ハ禁錮ニ處ス

二 具ノ他ノ場合ナルトキハ五年以下ノ懲役又ハ禁錮ニ處ス

第六十一條 黨與シテ前條ノ罪ヲ犯シ

タル者ハ左ノ區別ニ從テ處斷ス

一 敵前ナルトキハ首魁ハ無期若ハ十年以上ノ懲役又ハ禁錮ニ處シ具ノ他ノ者ハ三年以上ノ有期ノ懲役又ハ禁錮ニ處ス

二 具ノ他ノ場合ナルトキハ首魁ハ

五年以上ノ有期ノ懲役又ハ禁錮ニ處シ具ノ他ノ者ハ十年以下ノ懲役又ハ禁錮ニ處ス

第六十二條 上官ニ對シ兵器又ハ兇器ヲ用井テ暴行又ハ脅迫ヲ爲シタル者

ハ左ノ區別ニ從テ處斷ス

一 敵前ナルトキハ死刑、無期若ハ十年以上ノ懲役又ハ禁錮ニ處ス

二 具ノ他ノ場合ナルトキハ無期若ハ二年以上ノ懲役又ハ禁錮ニ處ス

第六十三條

黨與シテ前條ノ罪ヲ犯シ

タル者ハ左ノ區別ニ從テ處斷ス。

一 敵前ナルトキハ首魁ハ死刑ニ處

シ具ノ他ノ者ハ死刑又ハ無期ノ懲

役若ハ禁錮ニ處ス

二 具ノ他ノ場合ナルトキハ首魁ハ

死刑又ハ無期ノ懲役若ハ禁錮ニ處

シ具ノ他ノ者ハ死刑、無期若ハ五年

以上ノ懲役又ハ禁錮ニ處ス

第六十四條

哨兵ニ對シ暴行又ハ脅迫

ヲ爲シタル者ハ左ノ區別ニ從テ處斷
ス

一 敵前ナルトキハ七年以下ノ懲役

又ハ禁錮ニ處ス

二 具ノ他ノ場合ナルトキハ四年以

下ノ懲役又ハ禁錮ニ處ス

第六十五條 黨與シテ前條ノ罪ヲ犯シ

タル者ハ左ノ區別ニ從テ處斷ス

一 敵前ナルトキハ首魁ハ三年以上

ノ有期ノ懲役又ハ禁錮ニ處シ具ノ

他ノ者ハ十年以下ノ懲役又ハ禁錮ニ處ス

二 具ノ他ノ場合ナルトキハ首魁ハ一年以上十年以下ノ懲役又ハ禁錮ニ處シ具ノ他ノ者ハ五年以下ノ懲役又ハ禁錮ニ處ス

第六十六條 哨兵ニ對シ兵器又ハ兇器ヲ用井テ暴行又ハ脅迫ヲ爲シタル者ハ左ノ區別ニ從テ處斷ス

一 敵前ナルトキハ無期若ハ五年以

上ノ懲役又ハ禁錮ニ處ス

二 具ノ他ノ場合ナルトキハ一年以上ノ有期ノ懲役又ハ禁錮ニ處ス

第六十七條 黨與シテ前條ノ罪ヲ犯シタル者ハ左ノ區別ニ從テ處斷ス

一 敵前ナルトキハ首魁ハ死刑又ハ無期ノ懲役若ハ禁錮ニ處シ具ノ他ノ者ハ無期若ハ七年以上ノ懲役又ハ禁錮ニ處ス

二 具ノ他ノ場合ナルトキハ首魁ハ

死刑、無期若ハ七年以上ノ懲役又ハ
禁錮ニ處シ其ノ他ノ者ハ無期若ハ
二年以上ノ懲役又ハ禁錮ニ處ス
第六十八條 上官又ハ哨兵以外ノ陸軍
軍人具ノ職務ヲ執行スルニ當リ之ニ
對シ暴行又ハ脅迫ヲ爲シタル者ハ四
年以下ノ懲役又ハ禁錮ニ處ス
黨與シテ前項ノ罪ヲ犯シタルトキハ
首魁ハ六月以上七年以下ノ懲役又ハ
禁錮ニ處シ具ノ他ノ者ハ五年以下ノ

懲役又ハ禁錮ニ處ス
第六十九條 上官又ハ哨兵以外ノ陸軍
軍人具ノ職務ヲ執行スルニ當リ之ニ
對シ兵器又ハ兇器ヲ用井テ暴行又ハ
脅迫ヲ爲シタル者ハ一年以上十年以
下ノ懲役又ハ禁錮ニ處ス
黨與シテ前項ノ罪ヲ犯シタルトキハ
首魁ハ無期若ハ三年以上ノ懲役又ハ
禁錮ニ處シ其ノ他ノ者ハ一年以上ノ
有期ノ懲役又ハ禁錮ニ處ス

第七十條 多衆聚合シテ暴行又ハ脅迫
ヲ爲シタル者ハ左ノ區別ニ從テ處断
ス

一 首魁ハ三年以上ノ有期ノ懲役又
ハ禁錮ニ處ス

二 他人ヲ指揮シ又ハ他人ニ率先シ
テ勢ヲ助ケタル者ハ一年以上十年
以下ノ懲役又ハ禁錮ニ處ス

三 附和隨行シタル者ハ二年以下ノ
懲役又ハ禁錮ニ處ス

第七十一條 職權ヲ濫用シテ凌虐ノ行
爲ヲ爲シタル者ハ三年以下ノ懲役又
ハ禁錮ニ處ス

第七十二條 第六十條乃至第七十條ノ
未遂罪ハ之ヲ罰ス

第六章 侮辱ノ罪

第七十三條 上官ヲ具ノ面前ニ於テ侮
辱シタル者ハ三年以下ノ懲役又ハ禁
錮ニ處ス

又書、圖畫若ハ偶像ヲ公示シ又ハ演説

シ爲シ其ノ他公然ノ方法ヲ以テ上官
ヲ侮辱シタル者ハ五年以下ノ懲役又
ハ禁錮ニ處ス

第七十四條 哨兵ヲ其ノ面前ニ於テ侮
辱シタル者ハ二年以下ノ懲役又ハ禁
錮ニ處ス

第七章 逃亡ノ罪

第七十五條 故ナク職役ヲ離レ又ハ職
役ニ就カサル者ハ左ノ區別ニ從テ處
斷ス

一 敵前ナルトキハ死刑無期若ハ五
年以上ノ懲役又ハ禁錮ニ處ス

二 戰時軍中又ハ戒嚴地境ニ在リテ
三日ヲ過キタルトキハ五年以下ノ

懲役又ハ禁錮ニ處ス

三 其ノ他ノ場合ニ於テ六日ヲ過キ
タルトキハ二年以下ノ懲役又ハ禁
錮ニ處ス

第七十六條 黨與シテ前條ノ罪ヲ犯シ
タル者ハ左ノ區別ニ從テ處斷ス

一 敵前ナルトキハ首魁ハ死刑又ハ
無期ノ懲役若ハ禁錮ニ處シ具ノ他
ノ者ハ死刑、無期若ハ七年以上ノ懲
役又ハ禁錮ニ處ス

二 戰時、軍中又ハ戒嚴地境ニ在リテ
三日ヲ過キタルトキハ首魁ハ五年
以上ノ有期ノ懲役又ハ禁錮ニ處シ
具ノ他ノ者ハ六月以上七年以下ノ
懲役又ハ禁錮ニ處ス

三 具ノ他ノ場合ニ於テ六日ヲ過キ

タルトキハ首魁ハ一年以上七年以
下ノ懲役又ハ禁錮ニ處シ具ノ他ノ
者ハ三年以下ノ懲役又ハ禁錮ニ處
ス

第七十七條 敵ニ奔リタル者ハ死刑又
ハ無期ノ懲役若ハ禁錮ニ處ス

第七十八條 第七十五條第一號、第七十
六條第一號及前條ノ未遂罪ハ之ヲ罰
ス

第八章 軍用物損壞ノ罪

第七十九條 陸軍ノ工場、船舶、戰闘ノ用

ニ供スル建造物、藻車、電車若ハ橋梁又ハ陸軍ノ軍用ニ供スル物ヲ貯藏スル倉庫ヲ燒燬シタル者ハ死刑又ハ無期若ハ十年以上ノ懲役ニ處ス

第八十條 露積シタル兵器、彈藥、糧食、被服具ノ他、陸軍ノ軍用ニ供スル物ヲ燒燬シタル者ハ左ノ區別ニ從テ處斷ス
一 戰時、軍中又ハ戒嚴地境ナルトキハ死刑又ハ無期懲役ニ處ス

二 具ノ他ノ場合ナルトキハ無期又

ハ二年以上ノ懲役ニ處ス

第八十一條 火藥、汽罐其ノ他、激發スルキ物ヲ破裂セシメテ前二條ニ記載シタル物ヲ損壞シタル者ハ燒燬ノ例ニ同シ

第八十二條 第七十九條ニ記載シタル物又ハ陸軍戰闘ノ用ニ供スル鐵道、電線若ハ水陸ノ通路ヲ損壞シ又ハ使用スルコト能ハサルニ至ラシメタル者

ハ無期又ハ二年以上ノ懲役ニ處ス

第八十三條 兵器、彈藥、糧食、被服、馬匹具
ノ他陸軍ノ軍用ニ供スル物ヲ毀棄又
ハ傷害シタル者ハ十年以下ノ懲役又
ハ禁錮ニ處ス

第八十四條 第七十九條乃至第八十二
條ノ未遂罪ハ之ヲ罰ス

第八十五條 本章ノ規定ハ陸軍ト共同
作戰ニ從フ外國陸海軍ノ軍用物ニ對
スル行爲ニ亦之ヲ適用ス

第九章 掠奪ノ罪

第八十六條 戰地又ハ帝國軍ノ占領地

ニ於テ住民ノ財物ヲ掠奪シタル者ハ
一年以上ノ有期懲役ニ處ス

前項ノ罪ヲ犯スニ當リ婦女ヲ強姦シ
タルトキハ無期又ハ七年以上ノ懲役
ニ處ス

第八十七條 戰場ニ於テ戰死者又ハ戰
傷病者ノ衣服、其ノ他ノ財物ヲ褫奪シ
タル者ハ一年以上ノ有期懲役ニ處ス

第八十八條 前二條ノ罪ヲ犯ス者人ヲ
傷シタルトキハ無期又ハ七年以上ノ
懲役ニ處シ死ニ致シタルトキハ死刑
又ハ無期懲役ニ處ス

第八十九條 本章ノ未遂罪ハ之ヲ罰ス

第十章 俘虜ニ関スル罪

第九十條 俘虜ヲ看守又ハ護送スル者
其ノ俘虜ヲ逃走セシメタルトキハ三
年以上ノ有期懲役ニ處ス

第九十一條 俘虜ヲ逃走セシメタル者

ハ十年以下ノ懲役ニ處ス

俘虜ヲ逃走セシムル目的ヲ以テ器具

ヲ給與シ具ノ他逃走ヲ容易ナラシム

ハキ行爲ヲ爲シタル者ハ七年以下ノ

懲役ニ處ス

前項ノ目的ヲ以テ暴行又ハ脅迫ヲ爲

シタル者ハ一年以上十年以下ノ懲役

ニ處ス

第九十二條 俘虜ヲ奪取シタル者ハ二

年以上ノ有期懲役ニ處ス

第九十三條 逃走シタル俘虜ヲ藏匿シ
又ハ隠避セシメタル者ハ五年以下ノ
懲役ニ處ス

第九十四條 第九十條乃至第九十二條
ノ未遂罪ハ之ヲ罰ス

第十一章 違令ノ罪

第九十五條 哨兵ヲ欺キテ哨所ヲ通過
シ又ハ哨兵ノ制止ニ背キタル者ハ左
ノ區別ニ從テ處斷ス

一 敵前ナルトキハ一年以上五年以

下ノ禁錮ニ處ス

二 軍中又ハ戒嚴地境ナルトキハ三
年以下ノ禁錮ニ處ス

三 其ノ他ノ場合ナルトキハ一年以
下ノ禁錮ニ處ス

前項ノ外哨兵ニ對シ哨令ヲ犯シタル
者亦前項ニ同シ

第九十六條 在郷軍人故ナク召集ノ期
限ニ後レタルトキハ左ノ區別ニ從テ
處斷ス

一 戰時ニ際シ又ハ事變ノ爲召集ヲ
受ケタル場合ニ於テ五日ヲ過キタ
ル者ハ二年以下ノ禁錮ニ處ス

二 其ノ他ノ場合ニ於テ十日ヲ過キ
タル者ハ一年以下ノ禁錮ニ處ス

第九十七條 兵役ヲ免ルル目的ヲ以テ
疾病ヲ作爲シ、身體ヲ毀傷シ其ノ他詐
僞ノ行爲ヲ爲シタル者ハ三年以下ノ
懲役ニ處ス

左郷軍人召集ヲ免ルル目的ヲ以テ前

項ノ行爲ヲ爲シタルトキ亦前項ニ同
シ

第九十八條 戰時、軍中又ハ戒嚴地境ニ
在リテ軍事ニ関スル虚偽ノ命令、通報
又ハ報告ヲ爲シタル者ハ五年以下ノ
懲役ニ處ス

第九十九條 戰時又ハ事變ニ際シ軍事
ニ関シ造言飛語ヲ爲シタル者ハ三年
以下ノ禁錮ニ處ス

第一百條 禮砲、號砲具ノ他空包ヲ發スハ

キ場合ニ於テ彈丸、瓦石具ノ他ノ物ヲ
装填シテ發シタル者ハ二年以下ノ禁
錮ニ處ス

第一百一條 哨兵又ハ衛兵故ナク銃砲ヲ
發シタルトキハ二年以下ノ禁錮ニ處
ス

第一百二條 戰時、軍中又ハ戒嚴地境ニ在
リテ急呼ノ號報アリタル場合ニ故ナ
ク來會セサル者ハ二年以下ノ禁錮ニ
處ス

第一百三條 政治ニ關シ上書、建白具ノ他
請願ヲ爲シ又ハ演說若ハ文書ヲ以テ
意見ヲ公ニシタル者ハ三年以下ノ禁
錮ニ處ス

第一百四條 服從ノ義務ニ違フヘキ事ヲ
目的トシテ黨ヲ結ビタルトキハ首魁
ハ六月以上五年以下ノ禁錮ニ處シ具
ノ他ノ者ハ二年以下ノ禁錮ニ處ス

附則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

明治十四年第六十九號布告陸軍刑法ハ
之ヲ廢止ス